

教育課程の編成及び実施に関する方針【カリキュラム・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身につけた専門職業人の養成を使命としています。

この使命を達成し、ディプロマ・ポリシーに基づいた学生を育成するために、以下の科目等で教育課程を編成・実施します。

- ◎大学での学びの入り口として、深い教養を身に付ける必要感や目指す教師及び専門職の価値を認識し、主体的な問題発見及び問題解決能力を育成するための基礎教養教育科目
 - ・多様な学修歴をもつ入学者に対応できるように、大学生活や社会に出る準備段階としての学修意欲を高め、学習規律を身に付ける【初年次演習】を設定します。
 - ・学校現場で求められている「課題を発見する力」「情報を読み取る力」「複眼的に物事をとらえる力」「他者と協働する力」「解決に導く力」等の主体的な問題発見及び問題解決能力や能動的な学修活動能力を育成する【課題探究科目】を設定します。
- ◎教師及び教育を支える専門職等に必要な資質・能力の基礎を育成するための教師教養科目
 - ・教師教養科目として、特別支援教育，外国人児童生徒支援教育，危機管理等に関する【現代的教育課題対応科目】を設定します。
 - ・子どもの生活実態を知ったり，子どもとのコミュニケーション能力を養ったり，感性を磨くなど，教員等としての実践力を高めることを目的に，附属学校や国内外の連携協力校，地域社会等の協力を得て実施する【実践力育成科目】を設定します。
- ◎各課程において教職または教育支援専門職としてのキャリアの形成及びその専門性を高めるための専門教育科目
 - ・学校教育とそれを支える分野の理論と実践に関わる知識と経験を修得する【専門教育科目】（「教科研究科目」「専攻科目」「教職科目」「教科又は教職に関する科目」「教育学基礎科目」「教育支援科目」等）を設定します。
- ◎大学での学びと実践を結びつけるための実習科目
 - ・教員養成課程では，身に付けた専門性を試す場，自らを振り返る場として，3・4年次に【主実習】【隣接校実習】等を設定します。
 - ・教育支援専門職養成課程では，支援の実際を学び，知識と技術を統合する場として【心理臨床・実践領域科目】【社会福祉実習】【学校・自治体インターンシップ】等を設定します。
- ◎大学での学びの集大成としての卒業研究
 - ・専門分野に関わり，自ら研究テーマを設定し，文献調査，実地調査，質問紙調査，実験，制作などを通して学術的に探究し，まとめ，発表する【卒業研究】を設定します。